



魅惑の楽園「コスタリカ」～行くべき5つの理由～

みなさん**地球幸福度世界No1**のコスタリカという国はご存知ですか？

人の幸せは経済的、物質的な豊かさだけではない。人々が助け合って地球を守りながら、健康で心身ともに豊かな生活を送れているという満足度が世界一高い国なのです。特にこのコロナ禍を経験してこのような価値観を持つ人が増えたのではないのでしょうか。

そして世界情勢が不安定な今、軍隊を持たず永世中立国を貫いている平和な国コスタリカ。コスタリカは北米と南米をつなぐ中米にある四国と九州を足した程の小さな国です。地球全体からしたらこのわずか約0.03%の面積に、地球上の約5%の生物(野鳥に限っては約10%！)が棲息しているのでまさに野生動物たちの楽園なのです。

日本人にはあまり馴染みのない国かもしれませんが、アメリカ人には大人気の旅行先。アメリカ滞在中に是非コスタリカに行ってみませんか。ヒューストンからなら直行便でわずか4時間弱。気軽に行けてお子様がいらっしゃるご家族にはおススメの旅行先です。

コスタリカに行くべき5つの理由をお伝えしたいと思います。

1 野生動物を見つける楽しさを体験できる ～ワクワク感がたまらない！～

コスタリカには野生動物を見に行くのではありません。野生動物を**探しに行く**のです。まさに探検アドベンチャー。お子様にとってはポケモンGOの現実版みたいな感覚です。野生動物が暮らしている森や川や海にちょっとお邪魔して人間が見せてもらうというようなイメージです。ジャングルでボートに乗ってナマケモノやホエザルなどを探したり、夜は懐中電灯で照らしながら夜行性のカラフルなカエルや虫を探したりするワクワク感。そして、何ととっても美しい野鳥たちの探索。特に手塚治の火の鳥のモデルとなった美しい野鳥ケツァール。



「**幻のケツァールを見られたら幸せになれる...**」とされています。この鳥を見る為にはるばる日本から訪れる人もいます。数々の野鳥が棲息しているモンテベルデ自然保護区ではガイドさんが五感を澄ましてケツァールを探してくれます。そして長い尾羽を風にゆらゆら揺らし、美しい声で鳴いているケツァールを見つけた時の感動といたら。。言葉に表せられません。

野生動物を見つけるにはやはり知識と経験が豊富な現地ガイドが必要です。野生動物はそんなにたやすく姿を現してくれませんから。自分の力では到底見つけることはできません。ガイドによってコスタリカの楽しみ方は100倍も違ってくると思います。

2 自然との共存の方法を学べる ～エコツーリズムの神髄～

コスタリカの旅は美しい自然の景色や野生動物たちを見て楽しむだけではなく、そこから**学ぶ**のです。コスタリカは今全世界で取り組んでいる持続可能な観光(Sustainable Tourism)のお手本のような、エコツーリズム発祥の地です。自然の恩恵に感謝しながら人間も自然の一部として共存するという理念がしっかりと根付いています。知識豊富なガイドの説明を聞きながら動物の生態や人間と自然との共存への取り組みなど、現地に行って身をもって学ぶべきことがたくさんあります。

3 多様性を体感できる ～コスタリカならではの独特な風土や気候～

地図で見る通り、カリブ海と太平洋に挟まれた細長い国土の中央に山脈が走っています。この山脈を境に東と西の標高も違うので、それぞれの気候や植生も劇的に異なります。わずか1時間程の移動で熱帯雲霧林、熱帯乾燥林、熱帯雨林と異なる気候が体験でき、風景も標高の高い森か

ら、火山、ジャングルとめまぐるしく変わっていきます。こんなに小さい国の中でこんなに風土がバラエティに富んでいる国は他にないんじゃないかと思うくらい、**多様性**を感じることができます。

動物観察だけでなく、アレナル火山の温泉リゾートでくつろいだり、キャンプやハイキングのアクティビティなど多様な楽しみ方ができるのもコスタリカの魅力です。

4 快適なジャングル ～思ったより虫がいない！～

ジャングルというイメージの強いコスタリカ。「なんかジトーっとしてベタベタしているんじゃないかな?」、「虫に刺されまくれるんじゃないかな?」と敬遠してませんか?コスタリカでは蚊を食べてくれる虫が存在し、生態系が壊れずしっかりと保っているため余分に蚊が発生したりとかしないそうです。そして熱帯雨林では昼間は多少暑く感じることもありますが、朝夕は気温が下がって、まさに**快適なジャングル**なのです。



5 食べ物がとにかく何でもおいしい ～日本人の口に合う～

「コスタリカ料理って?」あまりピンとくる方もいないのではないのでしょうか。お肉と豆と米が中心のコスタリカの食べ物はとても美味しく、お米が主食の為日本人の口にとても合います。どれも優しい味で胃もたれすることなく旅行中でも健康に過ごせます。また、肥沃な土地で育った食物は栄養たっぷり新鮮なのでスパイスなどの味付けをしなくても**素材そのものだけで十分美味しい**のです。そしてもちろんフルーツは全てフレッシュでみずみずしい。特にマンゴーやパイナップルなどは異次元の甘さ。そしてコスタリカコーヒーはどこで飲んでも抜群に美味しいですよ。



コスタリカ版豚丼 チフリホ(Chifrijo)

私自身旅行中コスタリカ人が挨拶代わりに使う言葉 **Pura Vida!** を本当に色んな場面で使ってきました。「こんにちは」「元気にしてた?」「すごいね」「大丈夫だよ」「またね」「なんとかなるさ」というように。その時のコスタリカの人の

明るい笑顔が忘れられません。**Pura Vida=純粋な人生**という意味ですが、コスタリカに行けばその純粋で豊かな人生が送られる秘訣がわかります。

やはり百聞は一見に如かず。実際に行って肌で感じて、この感動を「体験」して頂けたらと思います。



アカメアマガエル

「たくさんの動物たちに会うにはいつ行ったらいいの?」という質問を受けませんが、コスタリカは常春で一年中過ごしやすい気候で、乾期(12-4月)と雨季(5-11月)に分かれています。ケツァールを見るチャンスが多いのは乾期の12-4月の間。それ以外は小さなアボガドの木を求めてカリブ海側の方の森、人間の手の届かないところに移動してしまうようです。雨季でもスコールのように一時的な雨なので、潤った緑の美しい森を満喫でき、夏にしか見られないウミガメの産卵観察もできます。

ワクワクドキドキでいっぱい魅惑の楽園、コスタリカ。是非行ってみませんか。

(JTB USA ルックアメリカンツアー 伊藤美和)